

平成30年度 第2回 多職種連携研修会

「つながる中区、その先を考える」

なにを伝える？多職種連携 ～退院時編～

アンケートまとめ

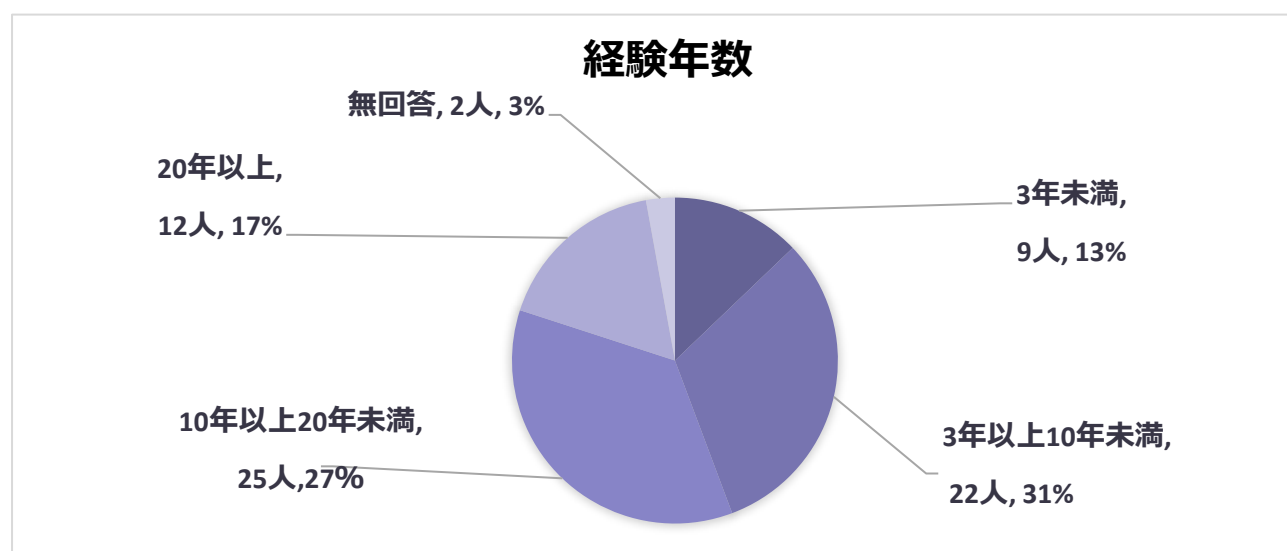
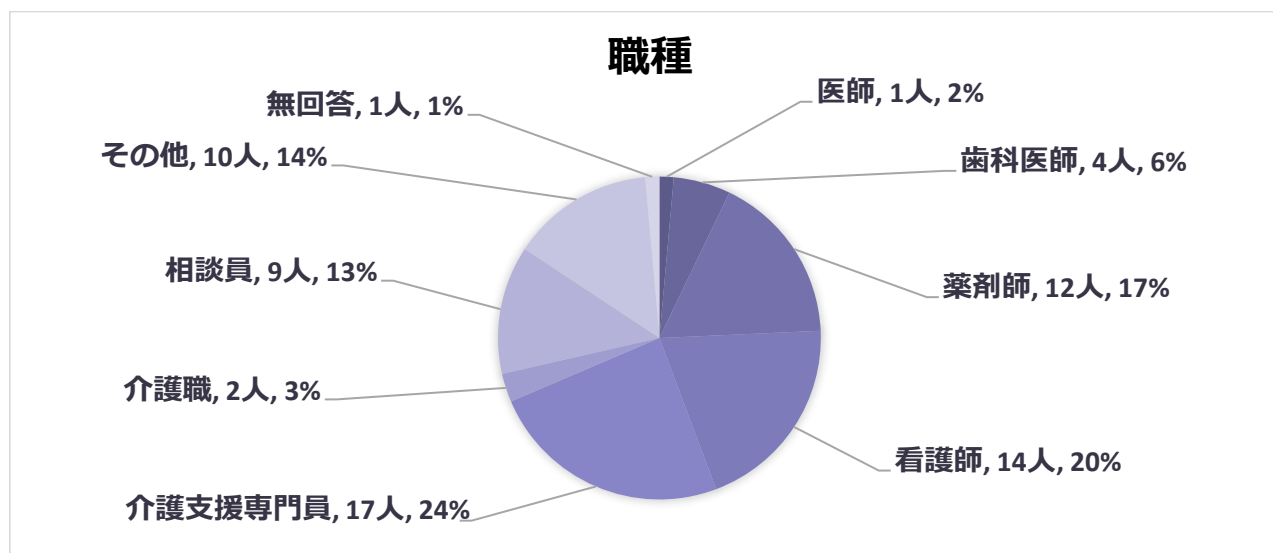
(平成31年1月19日開催)

開催日時：平成31年1月19日(土) 14:30～17:00

開催場所：独立行政法人国立病院機構 名古屋医療センター講堂

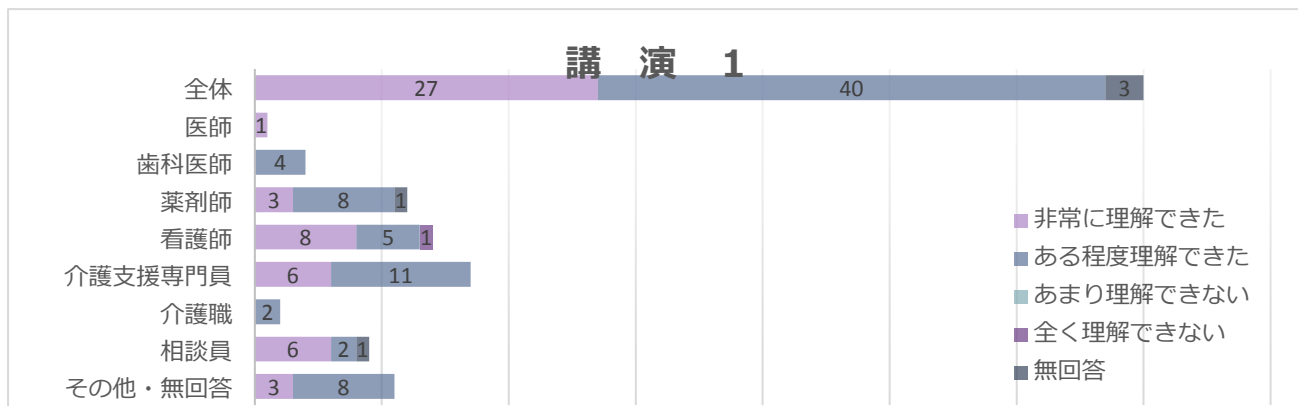
研修参加者数：93名

アンケート回答者数：70名(回答率75.3%)



## □ 講演 1 医療ソーシャルワーカーによる

### 「退院支援における多職種連携の実際」について

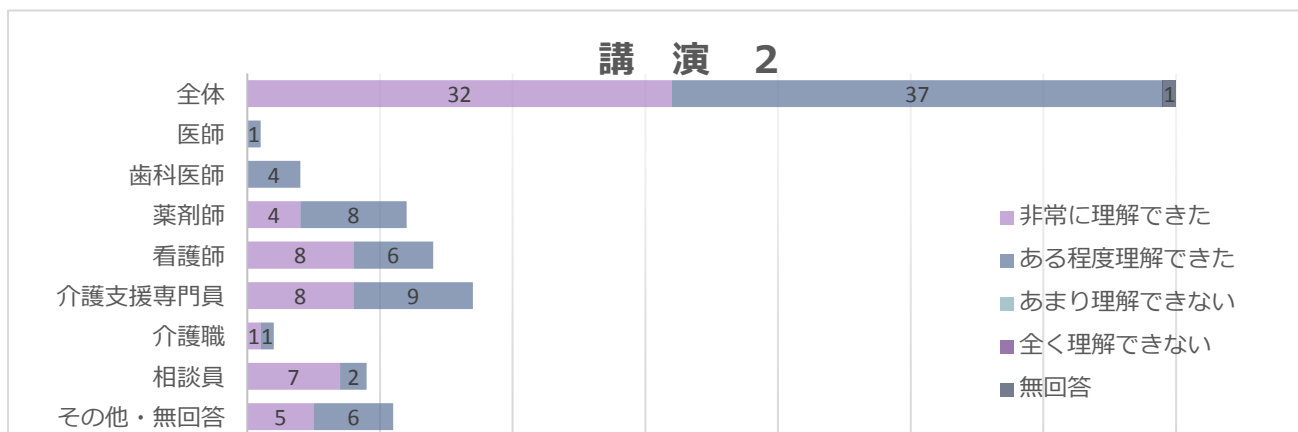


#### 理由（一部抜粋）

- ・ 病院側 MSW さんと在宅側のケアマネジャーさんの視点で話を聞くことができた（訪問 看護師）
- ・ 病院側の動きが理解できた（介護支援専門員）

## □ 講演 2 介護支援専門員による

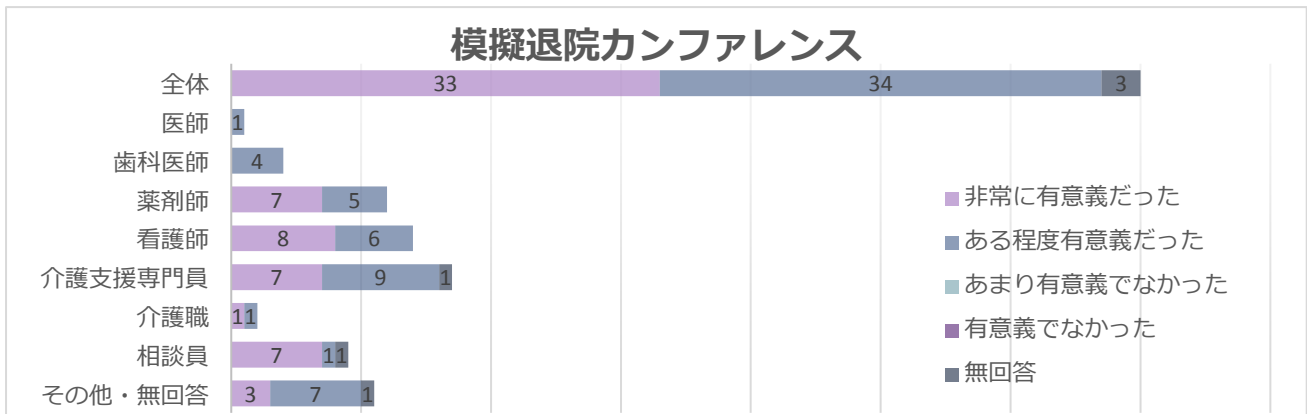
### 「退院支援における多職種連携の実際」について



#### 理由（一部抜粋）

- ・ 実際に退院カンファレンスで問題点となる部分が上がってきていたので、共感できる部分が多かった（介護事業所 相談員）
- ・ ケアマネは医療面が弱いという点はとても共感できました、ENT 前カンファレンスではそのあたりを補える様な時間を作れると良いと思いました（病院 相談員）
- ・ 自分も同様に悩んでいるので（介護支援専門員）

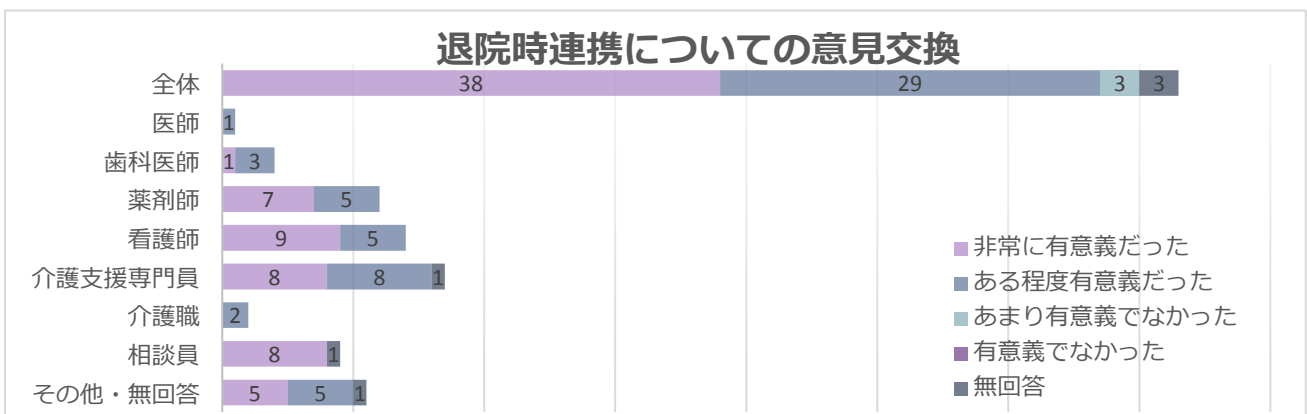
## □ 模擬退院カンファレンスについて



### 理由（一部抜粋）

- ・ 在宅業務の経験がなかったので、実際に他職種によるカンファを体験できよかった（薬剤師）
- ・ 模擬カンファレンスは、とても実際にイメージできて良かったです（病院 看護師）
- ・ 模擬カンファレンスをすすめながら、こうした方がもっと良いのではないかという活発な意見交換ができた（訪問 看護師）
- ・ 多職種からの視点があり、勉強になった（病院 相談員）

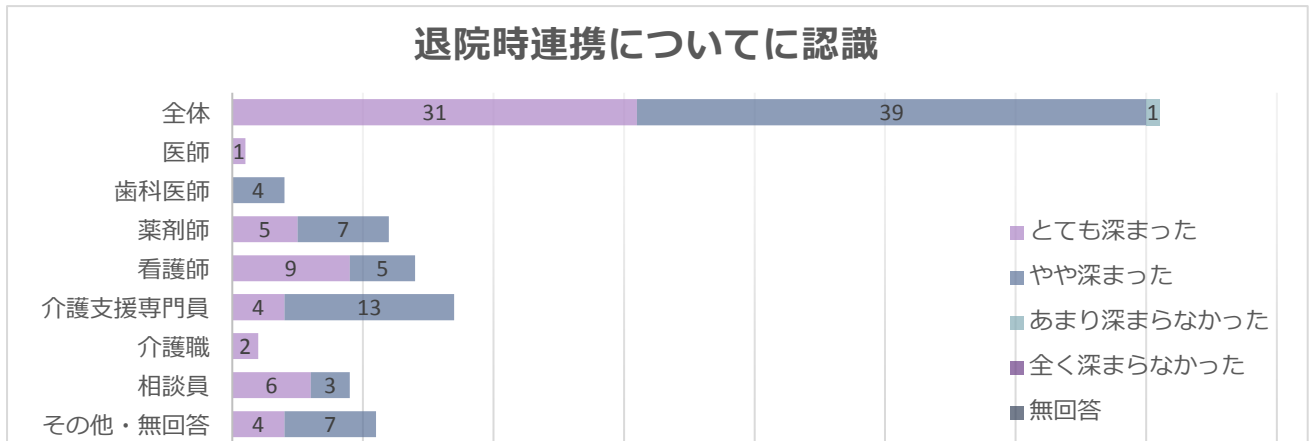
## □ 退院時連携に関する意見交換について



### 理由（一部抜粋）

- ・ 医療、介護側で必要としている情報の違いがわかった（理学療法士）
- ・ 在宅サービス側のとても貴重な意見が聞けた（病院 相談員）
- ・ お互い情報の発信・受信側に心がまえや、必要事項・状況などが理解できてよかった（介護支援専門員）
- ・ 他職種の方の経験、知識にふれることができ、とても有意義だった（薬剤師）

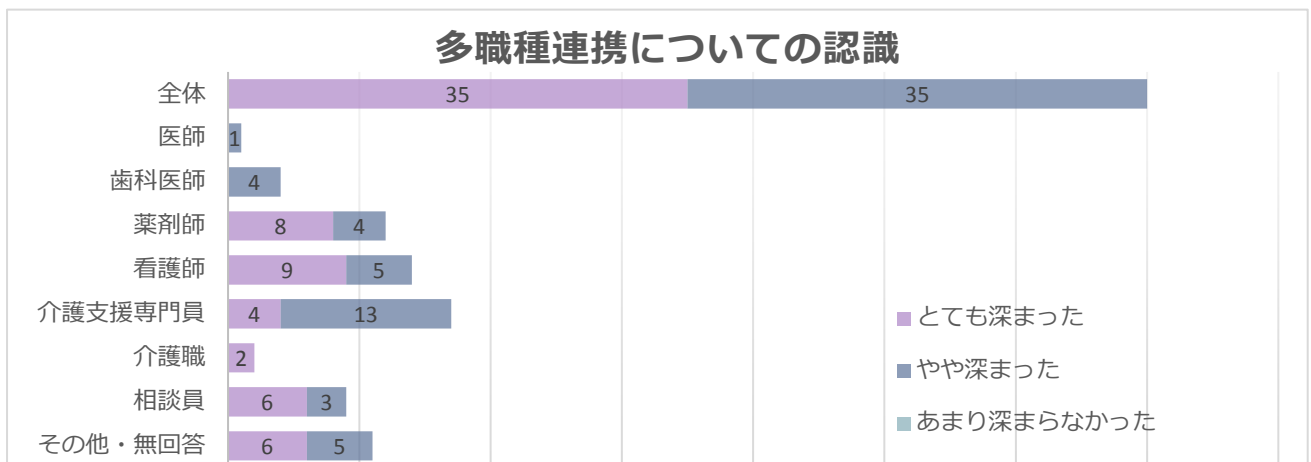
## □ 退院時連携について認識が深まりましたか？



### 理由（一部抜粋）

- ・ 具体的な困難事例をいくつか知ることができた（薬剤師）

## □ 多職種連携についての認識が深まりましたか？



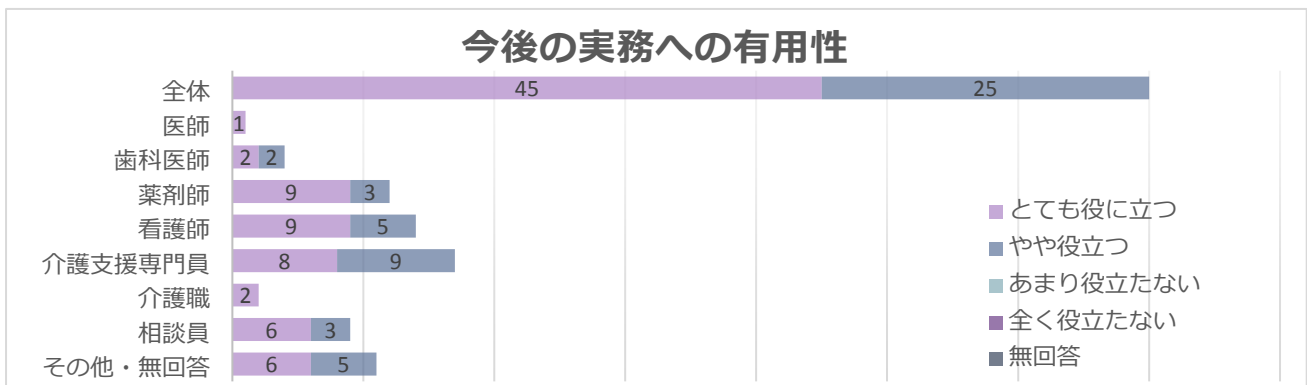
### 理由（一部抜粋）

- ・ 情報共有の方法、日程調整などで各職種が共有しやすい環境が必要だと感じた（理学療法士）
- ・ 各専門職の視点や工夫を知った（介護支援専門員）
- ・ 普段聞けない業務外での意見が聞けた（介護支援専門員）
- ・ 在宅経験がない為、わからない部分もありました（薬剤師）

## □ 多職種連携についてどのような課題があると思いますか

- ・ 口腔ケア指導する歯科医師・歯科衛生士がまだ不足しているのでは？（歯科医師）
- ・ 自分の専門以外の職種をもっと理解すること（薬剤師）
- ・ とにかく患者様とその家族に寄り添うことが大事だと思います（薬剤師）
- ・ 普段から病院 MSW とケアマネの連携が必要（病院 相談員）
- ・ 本人・家族の意向や能力の確認が重要（介護支援専門員）
- ・ 情報共有のあり方、リアルタイムでなければならない（介護支援専門員）
- ・ スムーズな情報交換の方法、看護師さんなど現場の方が忙しそうでなかなか聞くことができません（介護支援専門員）
- ・ 情報のやりとりがもっとスムーズにできると良い、はち丸もどんどん使い易くなるが良いと思います（看護師）
- ・ 職種や組織を超えた活発なコミュニケーションが必要（訪問 看護師）

## □ 今後の業務に役立つと感じましたか？



### 理由（一部抜粋）

- ・ 顔つなぎができた（歯科医師）
- ・ 薬剤師さんとの連携（介護支援専門員）
- ・ 中区の事業所同士での集まりであったので、顔の見える関係づくりとしてとても良い研修でした（訪問 看護師）
- ・ ここで得た情報を薬局店頭で患者さんに伝えることができる（薬剤師）
- ・ 今後、在宅業務をする際に参考になると感じました（薬剤師）
- ・ 他の職種の方から話を聞く事でどうしてほしいか見えてきました（薬剤師）

## □ ご意見

- ・ 場所の案内がなくわかりにくいとの意見がありました（病院 相談員）
- ・ タイムスケジュールに沿った進行だと良かったです、グループワークの時間をもう少しとれると良かったです（病院 看護師）
- ・ 当事業所の入院時の訪問看護サマリーはどうか、何を知りたいかを教えてほしい（訪問 看護師）
- ・ はち丸利用について、グループワーク・説明会（研修）がしてほしい（看護師）
- ・ 中区中学校は4つ、学区でテーブルを分けてもいいかも…（薬剤師）

～研修会へのご参加、アンケート回答ありがとうございました～  
ご意見、ご要望を参考に可能な限り今後の研修会に活かしていきたいと考えます。

## 中区はち丸在宅支援センター

平成30年度 第2回 在宅医療と介護

中区民のつどい

あなたの暮らしを支える医療と介護

平成31年 **3月16日** 土

14:00～15:30（開場13:30）  
名古屋市中区役所 地下2階 大ホール

定員 **300名**  
（申込不要・入場無料）

講演  
● テーマ  
「暮らしに広がる聞こえの役割」  
● 講師  
愛知医科大学耳鼻咽喉科 准教授 内田 育恵先生

シンポジウム  
● テーマ  
「あなたの暮らしを支える医療と介護」  
● 座長  
森 紀樹先生  
森内科クリニック 院長  
● シンポジスト  
藤井 肇基先生  
藤井徳科病院 院長  
伊藤 和也先生  
松原薬局本店 薬剤師  
徳永 嶺氏  
テラハート訪問看護ステーション 看護師  
鎌田 恒夫氏  
あんあん居宅介護支援事業所 介護支援専門員

会場MAP

お問合せ  
中区はち丸在宅支援センター  
TEL: 052-201-0874  
受付時間  
平日9時～17時  
休務  
名古屋市中区療科協議会 愛知県中療科協会

主催  
名古屋市中区協議会、中区はち丸在宅支援センター  
共催  
名古屋市中区地域福祉推進協議会、中区民生、中協議センター、中區いきいき支援センター  
協賛  
中区介護協議会、名古屋市中区療科協議会、愛知県中療科協会